



### — 時を学ぼう — セイコーミュージアム

#### ■過去から現在へ時を刻む

セイコーミュージアム(旧セイコー時計資料館)は、1981年に創業100周年記念事業として、時と時計の研究資料の収集・保存を目的に、墨田区に設立されました。その後、2014年4月には大幅なリニューアルを行い、「セイコーミュージアム」と改称しました。より幅広い方々への情報発信を行うことを目指し、時計の進化やセイコーの歴史・製品などの展示、腕時計組立などの体験を通じて、子どもから大人まで多くの皆様に楽しんでみながら学んでいただけます。

館内は、「時計の進化」と「セイコーの歴史」を中心とした展示となっています。「時計の進化」では、日時計から始まり、水、火、砂などの自然の力を利用した時計、次に機械式時計として1500年頃のイギリスの鉄棒塔時計から柱時計、懐中時計、そしてクォーツ時計へと発展してきた進化が展示されています。

#### ■セイコーと墨田

「セイコーの歴史」では、服部金太郎が1881年に服部時計店(現セイコーホールディングス)を創業

困難を乗り越えセイコーの基礎を築いた足跡を数々のエピソードを交え、創業の精神としてご紹介しています。

創業当初は輸入時計の販売を行い、時計の製造を始めたのは1892年で、本所区(現墨田区)石原町に時計製造工場「精工舎」を設立しました。その1年後、本所区柳島町(後の太平町)に移転しました。その後、この地で100年以上時計の製造を続けました。長い間「精工舎」の時計塔は、地元で時刻を知らせて皆様に愛され続けました。現在、「精工舎」は移転して



2014年に機械遺産に認定された「ローレル」「初代グラウンドセイコー」「クォーツアストロン」(左から)

ショッピングモール「オリエント」になっていきますが、墨田区とは歴史的に深い繋がりがありません。

セイコー製品の歴史としては、精工舎創業当時の掛時計や、2014年に機械遺産に認定された、国産初の腕時計「ローレル」(1913年)、世界最高水準の精度を達成した機械式腕時計「初代グラウンドセイコー」(1960年)、世界初のクォーツ腕時計「クォーツアストロン」(1969年)など、様々な歴史的製品から、最新技術の世界初GPSソーラー腕時計「GPSソーラーアストロン」まで革新的な技術と製品が展示されています。

#### ■時と時計の体験

その他、国内外の大会で使用する水泳用タッチ板を実際に動かして計測することができる「スポーツ計時体験コーナー」、3Dでグラウンドセイコーの機械の分解を体験できる「ZSPACE」を使用し、時計の機構が分かりやすく学べます。

また、小学生がセイコーの技術者に学びながら腕時計を作るワークショップを開催しており、時計の仕組みや時間の大切さを伝えています。

セイコーミュージアムホームページでは、展示品やセイコーの歴史の紹介のみならず、時計ものしり

コーナー、キッズコーナーなどコンテンツの充実を図り、国内外の多くの方々に時や時計のことに興味を持って頂く活動を続けていきます。

(セイコーミュージアム

熊谷 勝弘)



スポーツ計時体験コーナー

#### セイコーミュージアム ご利用案内

- 【開館時間】 10:00~16:00 (入館は15:30まで)
- 【休館日】 月曜日・祝日 (5月3・4・5日は開館) 年末年始
- 【入館料】 無料
- 【所在地】 墨田区東向島3-9-7
- 【電話】 03-3610-6248
- 【ホームページ】 <http://museum.seiko.co.jp/>
- 【その他】 ご来館にあたっては事前にご予約をお願い致します。ホームページからご予約できます。

# 「さあ!次は東京だ!!」 東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会

## ■2020年 すみだは国技館で ボクシング

日本中を感動と興奮の渦に巻き込んだ平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が終わり、次はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会です。この大会、墨田区でも国技館でボクシング競技が行われることになっています。

開幕まで2年となった今年、区ではボクシング競技の魅力を区民の皆さんに広くお伝えすべく、様々な取組を行っていきます。

## ■墨田区×「あしたのジョー」

子ども時代を区内で過ごされるなど区にゆかりのある漫画家、ちばてつや氏。ちば氏が、原作者の高森朝雄氏とともに描きあげたボクシング漫画「あしたのジョー」とタッグを組み、区内の様々な場所で「目にする」PRを展開していきます。

また、ボクシングを始めとするオリンピック・パラリンピック実施競技の体験等の機会を設け、区民の皆さんにオリンピック・パラリンピックへの関心を高めていただくとともに、健康づくりのお手伝いをします。

## ■ボクシングはおもしろい!

皆さん、ボクシング競技のルールはご存じですか?ボクシングと一口に言っても、世界タイトルマッチなどに代表されるプロボクシングと、オリンピックなどで行われるアマチュアボクシングとはルールが大きく異なります。ここでは、オリンピックで開催されるアマチュアボクシングのルールについて紹介します。

競技は、61メートル四方のリング上1対1で行われます。選手は左右の拳のみを使って闘いますが、攻撃できる範囲は相手の上半身前面と側面に限られています。蹴りや関節技などが許される他の格闘技と異なり、限られたルールの中で相手の隙をどのように突いて打ち崩すか、このようなどころにボクシング競技の醍醐味があります。

試合は体重別に男子は8階級、女子は5階級に分かれての勝ち抜きトーナメント方式で行われ、試合時間は男女とも3分×3ラウンドです。勝敗は主に「ポイント」または「レフリー・ストップ・コンテスト(RSC)」で決まります。「ポイント」は、ジャッジ(審判員)が有効と判断したパンチが加点され、ポイントの多い方を勝者とするものです。ダウンを奪っても有効打で劣っていると、ポ

イントで負ける可能性があります。「RSC」は、実力差やダメージ等を考慮し、レフリーが試合を止め勝敗を決めるものです。このほかに、ダウンから10秒以内に競技を続けられなかった場合の「ノックアウト」、反則行為があった場合の「失格」などで勝敗が決まることもあります。

次に、ボクシング競技の歴史を紹介いたします。ボクシングの歴史は古く、遅くとも古代ギリシャ時代には行われていたことがわかっています。オリンピックでは、1904年のセントルイス大会から行われており、2012年のロンドン大会からは女子も採用され、男女共催となりました。

日本人が初めてオリンピックに出場したのは、1928年のアムステルダム大会。1960年のローマ大会で初めて銅メダルを獲得しました。その後、1964年の東京大会では金メダル、1968年メキシコ大会では銅メダルを獲得しています。最近では、2012年のロ

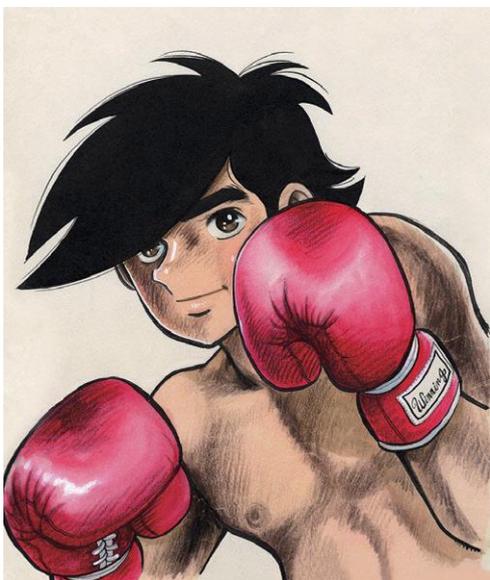
ンドン大会で、村田諒太選手が金メダル、清水聡選手が銅メダルを獲得したことは記憶に新しいところです。

## ■「オールすみだ」で盛り上げよう!

皆さん、多少でもボクシングに興味を持っていただけましたか?東京2020大会の実施競技の中でもボクシング競技は、開会式翌日から閉会式当日まで行われる、実施期間の長い競技です。その間、世界各国から母国を代表する選手や応援する観客が多数訪れます。「主力応援」とすみだならではの「おもてなし」で、大会を盛り上げましょう!

(墨田区オリンピック・)

パラリンピック準備室



「あしたのジョー」は連載開始から50周年!  
©高森朝雄・ちばてつや/講談社